

2018年ブルガリア犯罪統計（出典：内務省ウェブサイト）

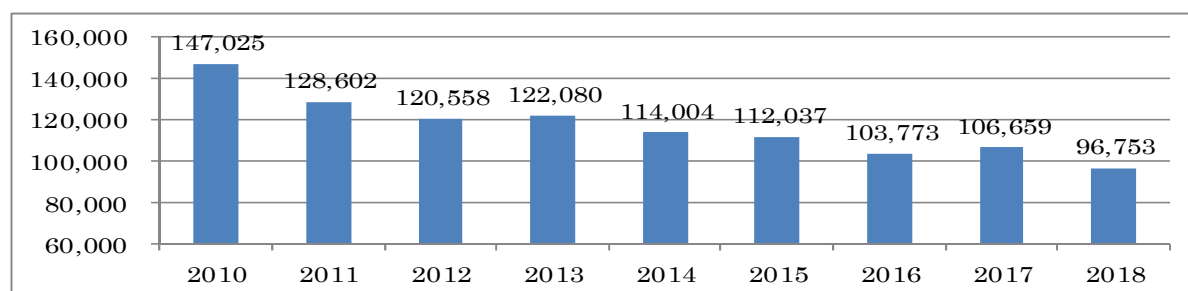
1 罪種別犯罪発生状況

	ブルガリア統計			日本との比較	
	認知件数	前年比 (%)	10万人当たりの発生率 (※1)	日本国内の10万人当たりの発生率 (※2)	日本を100とした場合の指数
犯罪総数	96,753	-9.3%	1,382.2	647.1	213.6
殺人	252	-3.1%	3.6	0.7	497.0
強盗	1,265	-18.8%	18.1	1.4	1277.4
強姦性交等	131	-23.4%	1.9	1.0	180.9
強制わいせつ	226	-3.0%	3.2	4.2	76.4
放火	1,232	-22.6%	17.6	0.7	2495.2
略取誘拐・人身売買	91	-40.9%	1.3	0.2	540.2
窃盗	36,922	-9.8%	527.5	460.9	114.5
交通事故死者数	611	-10.4%	8.7	2.8	312.2

※1 ブルガリアの人口700万人として計算

※2 警察庁ウェブサイトの統計を基に、日本の人口1億2,631万7千人として計算。

2 ブルガリア国内の犯罪総数の推移



3 主な地域の犯罪発生状況

地域	ソフィア市	ブルガス州	ヴァルナ州	ヴェリコ・タルノヴォ州	プロブディフ州	ルセ州	スタラ・ザゴラ州
犯罪件数 (※1)	20,020	6,247	6,758	2,409	5,762	2,412	3,493
発生率 (※2)	1,510.5	1,517.8	1,431.4	1,007.4	860.3	1,089.7	1,094.8

※1 生命・身体に対する犯罪（殺人、傷害等）及び財産に対する犯罪（強盗、窃盗等）の件数

※2 人口10万人当たりの件数

4 当館コメント

ブルガリアでは近年、犯罪の減少傾向が続いており、2018年の犯罪総数は2010年の約3分の2まで減少していますが、犯罪発生率を日本と比較すると、依然として2倍以上あり、殺人は約5倍、強盗は約12倍、放火に至っては約25倍と、凶悪犯罪の発生率が日本より桁違いに高い状況が続いています。特に、ソフィア市、ブルガス州、ヴァルナ州では、ブルガリア国内の平均よりも高い犯罪発生率となっていますので、十分ご注意ください。